

○倉敷市市民交流センター条例

平成 22 年 12 月 22 日

条例第 53 号

改正 平成 23 年 6 月 28 日 条例第 32 号

平成 25 年 12 月 26 日 条例第 50 号

平成 31 年 3 月 22 日 条例第 3 号

(目的及び設置)

第 1 条 市民の相互交流及び文化活動，コミュニティ活動等の促進を図り，もって地域の活性化に資するため，市民交流センター（以下「センター」という。）を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 センターの名称及び位置は，次のとおりとする。

名称	位置
倉敷市児島市民交流センター	倉敷市児島味野 2 丁目 2 番 38 号
倉敷市玉島市民交流センター	倉敷市玉島阿賀崎 1 丁目 10 番 1 号

(事業)

第 3 条 センターは，次に掲げる事業を行う。

- (1) センターの施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の提供
- (2) 歴史民俗海洋資料並びに池田遙邨及び坂田一男の顕彰記念資料の公開（倉敷市玉島市民交流センターに限る。）
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか，センターの設置目的を達成するための事業

(指定管理者による管理)

第 4 条 センターの管理は，倉敷市公の施設指定管理者の指定手続等に関する条例（平成 15 年倉敷市条例第 54 号）に基づき，市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）にこれを行わせることができる。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条 指定管理者は，次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の使用の許可に関する業務
- (2) センターの維持管理に関する業務
- (3) 使用料の徴収に関する業務

- (4) センターの設置目的を達成するための事業に関する業務
 - (5) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、センターの管理に関する事務のうち、市長のみの権限に関する事務を除く業務
- (指定管理者の権限)

第6条 指定管理者は、指定が効力を有する間、次条から第13条までに規定する市長の権限を行うものとする。ただし、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第11項の規定により、管理の業務の全部又は一部の停止を命ぜられた期間における当該停止を命ぜられた業務に係るものを除く。

(開館時間)

第7条 センターの開館時間は、午前9時から午後10時までとする。ただし、市長において特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(休館日)

第8条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、市長において特に必要があると認めるときは、休館日を変更することができる。

- (1) 毎月第4月曜日
- (2) 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長において特に必要があると認める日

2 前項第1号に掲げる日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日に当たるときは、その日を開館日とし、その日後においてその日に最も近い次の各号のいずれにも該当しない日を休館日とする。

- (1) 土曜日及び日曜日
- (2) 祝日法に規定する休日

(使用許可)

第9条 施設等を使用しようとする者は、あらかじめ、市長の許可を受けなければならない。

許可された事項を変更しようとするときも、また同様とする。

2 市長は、前項の許可に当たり、施設等の管理上必要があるときは、その使用について条件を付することができる。

(許可制限)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、施設等の使用を許可しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力排除の趣旨に反すると認めるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認めるとき。

(使用期間)

第11条 施設等の連続使用は、6日間を限度とする。ただし、市長において特に必要があると認めるときは、この限りでない。

(使用許可の取消し等)

第12条 市長は、第9条の規定により使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するときは、使用許可を取り消し、又は使用の制限若しくは停止若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 使用許可の条件に違反したとき。
- (3) 虚偽その他不正の手段により、使用の許可を受けたとき。
- (4) 第10条各号のいずれかに該当するとき。

(入場の制限)

第13条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入場を拒み、又は退場を命ずることができる。

- (1) ^{めいいてい}酩酊して他人に迷惑をかけるおそれのある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑をかけるおそれのある物品又は動物の^{たぐい}類を携行する者
- (3) 市長の許可なくして営業行為をなし、又は張り紙若しくは広告を行う者
- (4) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認める者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認める者

(使用料)

第14条 市長は、使用者から、別表第1及び別表第2並びに附属設備の使用について定める規則の規定により算出して得た額の使用料を徴収する。この場合において、確定金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

2 前項の使用料は、第9条の規定により使用を許可する際に徴収する。ただし、市長において特別の理由があると認めるときは、別に納期限を定めて納付させることができる。

(使用料の不還付)

第15条 既納の使用料は、還付しない。ただし、次の各号のいずれかに該当するときは、その全部又は一部を規則で定めるところにより還付することができる。

(1) 災害その他使用者の責めに帰することができない理由により使用不能となったとき。

(2) 使用者が使用開始前に使用の取消しを届け出た場合で、市長において相当の理由があると認めるとき。

(3) 使用者が使用開始前に使用許可の変更を申請した場合で、市長において相当の理由があると認めるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長において相当の理由があると認めるとき。

(使用料の減免)

第16条 市長は、公益上必要があると認めるときは、規則で定めるところにより、使用料を減免することができる。

(利用料金)

第17条 市長は、センターの管理を第4条の規定により指定管理者に行わせる場合において適当と認めるときは、指定管理者に施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該指定管理者の収入として収受させることができる。

2 前項の場合において、利用料金は、第14条の規定にかかわらず、別表第1及び別表第2並びに附属設備の使用について定める規則に規定する額の範囲内において、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。利用料金を変更しようとするときも、また同様とする。

3 指定管理者は、前項の承認を受ける場合においては、あらかじめ、利用料金の額の案を作成し、市長に承認を申請するものとする。

4 指定管理者は、第2項の規定により利用料金を定めたときは、直ちに公表するとともに、センターにおいて利用者の見やすい場所に掲示しなければならない。

5 指定管理者は、第1項の場合において、市長の承認を得て定める基準により、利用料金の全部若しくは一部を還付し、又は利用料金を減免することができる。

(販売行為等の制限)

第 18 条 使用者は、許可を受けないで施設内（敷地を含む。）において物品の販売又は金品の寄附、募集等の行為を行い、又は行わせてはならない。

（目的外使用等の禁止）

第 19 条 使用者は、許可を受けた使用目的以外に施設等を使用し、若しくは転貸し、又はその使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

（造作等の制限）

第 20 条 使用者は、施設等の使用に際し、造作を加え、又は特別の設備を設置してはならない。ただし、あらかじめ、市長の許可を受けた場合は、この限りでない。

（保安等の責任）

第 21 条 使用者は、施設等の使用に際し、施設等を善良な管理者の注意をもって管理するとともに、入場者の整理及び警備の責任を負うものとする。

（職員の立入り等）

第 22 条 使用者は、センターの職員が職務執行のため使用許可した施設に立ち入るときは、これを拒むことができないとともに、当該職員の指示に従わなければならない。

（原状回復の義務）

第 23 条 使用者は、施設等の使用を終了したとき、又は使用許可を取り消されたときは、直ちにセンターの職員の指示に従い、施設等を原状に回復して返還しなければならない。

2 使用者が前項の義務を履行しないときは、市長は、使用者に代わってこれを執行し、その費用を使用者から徴収する。

（損害賠償）

第 24 条 施設等を破損し、又は滅失した者は、市長の指示に基づいてこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長においてやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

2 本市は、施設等の使用に際し、使用者若しくは入場者が被った損害又は第 12 条の規定による処分により使用者が被った損害について、その賠償の責めを負わない。

（使用者等の遵守事項）

第 25 条 使用者及び入場者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1） 入場人員は、使用施設の定員を超えないこと。

（2） あらかじめ指定された場所以外で火気を使用し、又は喫煙しないこと。

- (3) 建物その他の物件を破損し、又は汚損するおそれのある行為をしないこと。
- (4) 騒音を発し、暴力を用いる等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (5) 所定の場所以外の場所に出入りしないこと。
- (6) 特に承認を受けた者以外は、所定の場所に備え付けた物件を移動させないこと。
- (7) 使用後は、速やかに原状に回復し、清掃すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、センターの職員が指示した事項
(委任)

第26条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成23年10月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 施設等の使用許可申請の受付その他の必要な準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

附 則 (平成23年6月28日条例第32号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 倉敷市玉島市民交流センターの施設等の使用許可申請の受付その他の必要な準備行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

附 則 (平成25年12月26日条例第50号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

- 6 この条例(第1条及び第34条を除く。)による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

附 則 (平成31年3月22日条例第3号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

(その他の使用料等に係る経過措置)

6 この条例（第2条及び第32条を除く。）による改正後の各種使用料等に係る規定は、施行日以後に使用許可その他の行為が行われるものに係る使用料等について適用し、施行日前に当該行為が行われたものに係る使用料等については、なお従前の例による。

別表第1（第14条、第17条関係）

倉敷市児島市民交流センター

使用区分・時間 使用場所		基本使用料（円）						冷暖房料
		午前	午後	夜間	昼間	昼夜間	全日	
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
ジーンズホール		3,960	5,280	5,280	10,675	11,995	17,380	1時間につき 冷房料
楽屋	第1楽屋	115	220	220	440	440	660	1,729円 暖房料
	第2楽屋	115	220	220	440	440	660	
	第3楽屋	115	220	220	440	555	775	
楽屋シャワー室		555	555	555	555	660	660	1,278円
会議室	第1会議室	880	1,100	1,100	2,315	2,640	3,855	
	第2会議室	220	335	335	660	775	1,100	
	第3会議室	555	775	775	1,540	1,655	2,535	
	第4会議室	115	220	220	440	555	775	
	第5会議室	115	220	220	440	555	775	
	第6会議室	335	555	555	1,100	1,215	1,760	
	第1和室会議室	335	555	555	1,100	1,215	1,760	

					0	5	0
	第2和室会議室	2 2 0	3 3 5	3 3 5	6 6 0	6 6 0	9 9 5
多目的室		9 9 5	1, 4 3 5	1, 4 3 5	2, 8 6 0	3, 1 9 5	4, 6 2 0
視聴覚室		1, 9 8 0	2, 6 4 0	2, 6 4 0	5, 3 9 5	6, 1 6 0	8, 8 0 0
練習室	第1練習室	2 2 0	3 3 5	3 3 5	6 6 0	7 7 5	1, 1 0 0
	第2練習室	2 2 0	3 3 5	3 3 5	6 6 0	6 6 0	1, 1 0 0
いきいきふれあいルーム		9 9 5	1, 3 2 0	1, 3 2 0	2, 6 4 0	3, 0 8 0	4, 4 0 0
工作室		7 7 5	9 9 5	9 9 5	2, 0 9 5	2, 3 1 5	3, 4 1 5
陶芸窯室		6 6 0	6 6 0	6 6 0	8 8 0	8 8 0	1, 1 0 0
調理室		1, 4 3 5	1, 7 6 0	1, 7 6 0	3, 0 8 0	3, 4 1 5	4, 7 3 5
多目的ホール		1, 1 0 0	1, 4 3 5	1, 4 3 5	2, 9 7 5	3, 4 1 5	4, 8 4 0
展示スペース（1ブロック）		5 2	7 3	7 3	1 3 6	1 4 7	2 2 0
ギャラリー（1ブロック）		4 2	6 3	6 3	1 1 5	1 2 6	1 7 8
芝生広場		6 6 0	8 8 0	8 8 0	1, 7 6 0	1, 9 8 0	2, 9 7 5

備考

- 1 多目的ホールを時間単位で使用する場合には、使用

部分が全面の場合にあつては 377 円， 2 分の 1 の場合にあつては 189 円， 3 分の 1 の場合にあつては 126 円， 6 分の 1 の場合にあつては 63 円とする。

2 割増料

(1) 入場料割増し

使用者が入場料又はこれに類するもの（以下「入場料等」という。）を徴収する場合は，基本使用料又は冷暖房料に次のとおり加算する。

ア ジーンズホールの使用については，入場料等が 2,000 円以上 3,000 円未満のときは基本使用料の 100 パーセント， 3,000 円以上 4,000 円未満のときは基本使用料の 150 パーセント， 4,000 円以上のときは基本使用料の 200 パーセント

イ ジーンズホール以外（楽屋シャワー室を除く。）の使用については，入場料等が 2,000 円以上のときは，基本使用料の 500 パーセント

ウ 冷暖房の使用については，入場料等が 2,000 円以上のときは，冷暖房料の 100 パーセント

(2) 営業割増し

使用者が営業，営業の宣伝その他これらに類する目的をもって 2,000 円未満の入場料等を徴収する場合（無料で入場させる場合を含む。）は，基本使用料又は冷暖房料に次のとおり加算する。

ア ジーンズホールを使用するときは，基本使用料の 100 パーセント

イ ジーンズホール以外（楽屋シャワー室を除く。）を使用するときは，基本使用料の 500 パーセント

ウ 冷暖房を使用するときは，冷暖房料の 100 パーセント

(3) 市外居住割増し

本市住民（本市内に居住する者又は本市内に事務所を有する法人をいう。）以外の者が使用する場合は，基本使用料（楽屋シャワー室に係る基本使用料を除く。）又は冷暖房料の 100 パーセントを加算する。

(4) 超過時間等割増し

ア 施設の繰上げ又は超過使用の場合は，繰上げ又は超過使用時間 30 分ごとに，使用時間区分の 1 時間当たりの基本使用料（前 3 号のいずれかに該当する場合は，前

3号の各規定により加算して得た額とする。)の50パーセントを加算する。この場合において、30分未満は30分として取り扱うものとする。

イ ジーンズホールの冷暖房の繰上げ又は超過使用の場合は、繰上げ又は超過使用時間30分ごとに、1時間当たりの冷暖房料(前3号に該当する場合は、前3号の規定により加算して得た額とする。)の50パーセントを加算する。この場合において、30分未満は30分として取り扱うものとする。

3 ジーンズホールの使用の場合は、ジーンズホールの基本使用料に第1楽屋、第2楽屋及び第3楽屋の基本使用料を含むものとする。

4 準備又は練習のためにジーンズホール(客席及び親子室を除く。)を使用する場合は、基本使用料の50パーセントを減額する。

5 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。

6 金額には消費税及び地方消費税を含む。

別表第2(第14条、第17条関係)

倉敷市玉島市民交流センター

1 ホール・会議室等

使用区分・時間 使用場所		基本使用料(円)						冷暖房料
		午前	午後	夜間	昼間	昼夜間	全日	
		9時～12時	13時～17時	18時～22時	9時～17時	13時～22時	9時～22時	
ホール		4,295	5,720	5,720	11,440	12,875	18,540	1時間につき 冷房料
楽屋	第1楽屋	115	220	220	440	555	775	暖房料 1,372円
	第2楽屋	220	220	220	555	660	880	
	第3楽屋	115	220	220	440	555	775	
楽屋シャワー室		555	555	555	660	775	880	
会議室	第1会議室	995	1,320	1,320	2,755	3,080	4,515	
	第2会議室	1,870	2,530	2,530	5,060	5,610	8,140	

		5	5	5	0	5	0
	第3会議室	880	1, 21 5	1, 21 5	2, 53 5	2, 86 0	4, 18 0
	第4会議室	660	880	880	1, 87 5	2, 09 5	3, 08 0
	第5会議室	335	440	440	880	995	1, 43 5
	第6会議室	220	335	335	775	880	1, 32 0
	第1和室会議室	335	440	440	995	1, 10 0	1, 65 5
	第2和室会議室	220	335	335	775	880	1, 21 5
	第3和室会議室	220	335	335	775	880	1, 21 5
	多目的室	335	555	555	1, 10 0	1, 21 5	1, 76 0
練習室	第1練習室	775	1, 10 0	1, 10 0	2, 20 0	2, 42 0	3, 63 5
	第2練習室	335	440	440	880	995	1, 43 5
	工作室	880	1, 10 0	1, 10 0	2, 31 5	2, 64 0	3, 74 0
	陶芸窯室	660	660	660	880	995	1, 10 0
	調理室	1, 43 5	1, 76 0	1, 76 0	2, 86 0	3, 19 5	4, 29 5
美術	第1美術展示室	335	440	440	880	995	1, 54

展示室							0
第2美術展示室	880	1, 21	1, 21	2, 42	2, 75	3, 96	
		5	5	0	5	0	
美術倉庫（1ブロック）	73	94	94	178	210	304	

備考 別表第1備考（第1号を除く。）の規定は、この表の使用料及び使用時間について準用する。この場合において、同表備考中「ジーンズホール」とあるのは「ホール」と読み替えるものとする。

2 体育室

種別	単位	基本使用料
フロアを全面使用する場合	1時間につき	430円
バレーボール	1面1時間につき	356円
バスケットボール	1面1時間につき	356円
バドミントン	1面1時間につき	126円
インディアカ	1面1時間につき	126円
ソフトバレー	1面1時間につき	126円
バウンドテニス	1面1時間につき	94円
卓球	1面1時間につき	31円

備考

1 割増料

(1) 入場料割増し

使用者が2,000円以上の入場料等を徴収する場合は、基本使用料の500パーセントを加算する。

(2) 営業割増し

使用者が営業、営業の宣伝その他これらに類する目的をもって2,000円未満の入場料等を徴収する場合（無料で入場させる場合を含む。）は、基本使用料の500パーセントを加算する。

(3) 市外居住割増し

本市住民（本市内に居住する者又は本市内に事務所を有する法人をいう。）以外の者が使用する場合は、基本使用料の１００パーセントを加算する。

（４） 超過時間等割増し

施設の繰上げ又は超過使用の場合は、繰上げ又は超過使用時間３０分ごとに、１時間当たりの基本使用料（前３号のいずれかに該当する場合は、前３号の各規定により加算して得た額とする。）の５０パーセントを加算する。この場合において、３０分未満は３０分として取り扱うものとする。

２ 使用時間は、準備、使用後の整理及び原状回復に要する時間を含む。

３ 金額には消費税及び地方消費税を含む。

３ 屋外体育施設

種別	単位	基本使用料
テニスコート	１面１時間につき	１７８円
シャワー室	１人１回につき	４２円

備考 別表第２の２の項の表備考の規定は、この表の使用料について準用する。ただし、シャワー室に係る使用料については、別表第２の２の項の表備考第１号及び第２号の規定を準用しない。